

平成 25 年 9 月 26 日

古賀市議会

議長 奴 間 健 司 様

決算審査特別委員会

委員長 田中 英輔

決算審査特別委員会審査報告書

本委員会に付託された事件の審査結果を、委員会条例第 110 条の規定により報告します。

記

今定例会における 9 月 2 日の本会議において決算審査特別委員会に付託されました平成 24 年度決算関係議案、第 75 号議案から第 82 号議案までの 8 議案について審議の経過と結果についてご報告いたします。

審議に当り、市長、教育長、監査委員、各関係部課長の出席を求め、決算概要の説明を聞くとともに、監査委員から提出の決算審査意見書および、成果報告書他、委員会請求資料などを参考にさる 9 月 12 日、13 日、18 日から 20 日の 5 日間にわたり、審査を実施しました。

なお、計数などの詳細につきましては、議長、監査委員を除く議員 17 名の特別委員会でありますので省略させていただき、概要を報告いたします。

第 75 号議案 平成 24 年度古賀市一般会計決算の認定について

2 款 総務費では

市内公共交通網整備事業の路線バス運行補助では運行状況と利用状況について、地域サポート補助では利用地域拡大の取り組みについて。定住化促進事業では事業の推進管理について。庁舎の老朽化に対する今後の対応、職員研修の状況についてなどの質疑を行っております。

3 款 民生費では

高齢者が増える中で利用減少が続いている配食サービスについてその要因や利用ニーズ調査などについて。高齢者外出促進事業の利用拡大の取り組みについて。高齢者等救急医療情報設置事業では医療情報キットの目的と配布方法についてなどの質疑を行っております。

4 款 衛生費では

玄界環境組合負担金軽減への対応、清掃工場・し尿処理施設の将来構想検討について。循環型社会研究事務費では研究の方向と進捗状況について、環境調査測定事業では調査結果と対応状況について。家庭系ごみ減量推進事業では剪定枝回収事業の拡大の取り組みについて。保健師の配置状況、がん検診実態調査と健診状況についてなどの質疑を行っております。

5 款 労働費では

地場農産物 P R 事業で、販路の拡大への効果や今後の課題について。雇用対策基金事業では 1 1 の事業で 3 0 人の雇用を行ったが、その後の継続雇用についてなどの質疑を行っております。

6 款 農林水産業費では

耕作放棄地再生事業の取り組み状況、事業後の継続と効果。農業者育成事業では就農後の支援体制や支援状況について。学校給食支援事業では協力農家の拡大についてなどの質疑を行っております。

7 款 商工費では

特産品 P R 事業の企画・実行委員会への市民参加、職員参加の状況について。中小企業支援事業では企業融資預託金の利用状況、観光振興事業では対外アピールなどについて質疑を行っております。

8 款 土木費では

交通安全施設整備事業で安全対策の進捗と管理について。河川管理では実施状況と管理のあり方について。橋梁長寿命化工事、公園長寿命化計画管理事務費では管理の状況、実施についてなどの質疑を行っております。

9 款 消防費では

災害対策事業では自主防災組織の資機材の配備や管理について。ハザードマップ作成事業では委託内容や記載内容について。消防施設整備事業では消防自動車の更新の基準や廃車の取り扱いについてなどの質疑を行っております。

1 0 款 教育費では

学校教育関係では、古賀市独自の人的配置で、学力向上事業の学習支援アシスタント、スクールソーシャルワーカーの配置と利用状況について。小中学校備品購入費の学校図書館では蔵書の改善について現状把握の必要性、選書や購入への司書の関わりについて。部活動活性化事業では外部講師と教師の連携や研修、大会参加などの費用について。パソコン学習でのメディアリテラシーの学習、Q U アンケートの活用状況、教材備品の購入状況についてなどの質疑を行っております。

社会教育関係では、図書館費で地域別利用状況とその対応について。学校図書館ネットワークの利用状況と物流について。図書購入予算と購入数のひらきについて。開館日、利用状況について。学校給食ではセンターの改修整備の今後の方向について。給食調理・配送委託の状況について。青少年育成費の居場所づくり事業では拠点や現状の課題と利用促進について。少年の船活動事業補助、日本の次世代リーダー養成塾では参加者の育成についてなどの質疑を行っております。

歳入全般では

当初予算に比べ増加した歳入について、補正の評価と将来負担について。歳入の伸びが大きかった法人市民税の内訳と評価。民生費負担金では保育所費負担金、子育て支援費負担金の納入状況と未納について。若年者専修学校等技能習得資金

の返還状況についてなどの質疑を行っております。

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり

1. 路線バス運行補助では補助額は増加しているが利用者は減少傾向にある。
2. 玄界環境組合負担金では将来見込みに関わる検討作業に構成自治体として関わっておらず、報告も受けていない。
3. 市民の移動手段、健康管理、学力向上や図書館利用など地域間に格差が見られる。

【意見】

(賛成意見)

- ・平成24年度も、職員の努力で円滑な行政運営が行われた。決算審査では買い物難民、通院難民などの高齢者問題だけでなく、特定健診の受診、小中学校学力向上事業の利用者、図書館利用などの地域間格差が明らかになった。この背景には移動手段の不備があり、根本的な検討と合わせ、ニーズの把握、実態調査に取り組む事を求める。循環型社会形成については、研究会、環境基本計画、ごみ処理基本計画が同時進行しているが、それぞれの整合性に課題がある。玄界環境組合の焼却施設の将来構想検討は結果待ちとなっており、研究会、審議会、一部事務組合、担当課での意見交換、情報共有を進める事を求める。
- 平成24年度の予算と決算のひらきについての見解は、将来負担を軽減できるというものであった。事業の前倒しの意義は理解するが、借金の負担や今後の維持管理の負担を考慮し慎重な検討を求める。

(反対意見)

- ・西鉄バス路線の増便が行われたが、利用者増への企業努力など不足しており、赤字補填3,429万円は有効な使い方と言えない。同和対策事業は団体への指導・指摘が改善されていない。市民のごみ減量が反映されない状況で古賀清掃工場への約9億円の負担は問題。資源ごみや剪定枝の回収などリサイクル推進も不十分で循環型社会への方向性がはっきりしていない。配食サービスの減少は市民ニーズとかみ合わず、高齢者福祉も医療費の負担など安心して暮らせる高齢者対策とは言えない。中小企業の支援策も不十分である。スクールソーシャルワーカーの拡充や少人数学級の拡大教育環境の整備が進められているが不足している。

【審査結果】

委員会は、賛成多数で原案のとおり認定すべきものと決定した。

第 7 6 号議案 平成 2 4 年度古賀市住宅新築資金等貸付事業特別会計決算の認定について

貸付金の滞納状況についてなどの質疑を行っております。

【意見】

(反対意見)

- ・まだ、多額の返済が残っており、貸付金は税金であり回収努力が必要。

【審査結果】

委員会は、賛成多数で原案のとおり認定すべきものと決定した。

第 7 7 号議案 平成 2 4 年度古賀市国民健康保険特別会計決算の認定について

不納欠損額、収入未済額の状況と対応について、健康づくり、健診に関わる職員、嘱託職員、臨時雇用の配置についてなどの質疑があっております。

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり

1. 職員の内 2 名が健康づくり、健診に関わっている事があらためて確認できた。

【意見】

(反対意見)

- ・平成 2 4 年度も 1 億円余りの黒字と数年黒字決算が続いている。国民健康保険税の不納欠損となった人の中には高い保険税で払えない人も多い。

【審査結果】

委員会は、賛成多数で原案のとおり認定すべきものと決定した。

第 7 8 号議案 平成 2 4 年度古賀市後期高齢者医療特別会計決算の認定について

不納欠損額、収入未済額の状況と対応についてなどの質疑があっております。

【意見】

(反対意見)

- ・7 5 歳以上の高齢者が国保や、健保から切り離され経済弱者に減免もなく高齢者の生活を圧迫するものである。

【審査結果】

委員会は、賛成多数で原案のとおり認定すべきものと決定した。

第 7 9 号議案 平成 2 4 年度古賀市介護保険特別会計決算の認定について

不納欠損額、収入未済額の状況と理由について、認定審査会の認定状況についてなどの質疑があっております。

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり

1. 認定更新時における審査で介護度の改善、維持、悪化の状況が示された。

【意見】

(反対意見)

- ・平成 2 4 年度も 1 億 5 千万円余りの黒字と、ここ数年黒字決算が続いている。不納欠損の 7 割が経済的理由となっている。滞納が続けば利用の制限につながり市が補完すべき介護保険サービスの責任を果たしていない。

【審査結果】

委員会は、賛成多数で原案のとおり認定すべきものと決定した。

第 8 0 号議案 平成 2 4 年度古賀市公共下水道事業特別会計決算の認定について

滞納繰越分不納欠損額、負担金収入未済額の状況と理由について、汚泥の処理量・処理方法についてなどの質疑があっております。

【審査結果】

委員会は、全員賛成で原案のとおり認定すべきものと決定した。

第 8 1 号議案 平成 2 4 年度古賀市農業集落排水事業特別会計決算の認定について

不納欠損額とその対策についてなどの質疑があっております。

【審査結果】

委員会は、全員賛成で原案のとおり認定すべきものと決定した。

第 8 2 号議案 平成 2 4 年度古賀市水道事業会計決算の認定について

平成 2 3 年度の余剰金の取り扱いについて、受水量と単価についてなどの質疑があつております。

【意見】

(反対意見)

- ・ 1 5 億円の余剰金があることから、水道料金を引き下げるべき、福岡水道企業団への出資金、繰り出し金は大きく関係を見直すべき。

【審査結果】

委員会は、賛成多数で原案のとおり認定すべきものと決定した。

以上、平成 2 4 年度決算審査特別委員会審査の概要を報告致します。決算審査にあたって 1 5 5 件の資料要求を行い 1 2 4 件の文書回答が提出されております。市民満足度調査、行政評価報告書も提出され、決算に関連する資料が事前に提出され審査の充実が図られた事に対して執行部のご努力に改めて感謝いたします。

最後に決算認定制度の意義として次年度の予算編成と財政運営に審議過程での反省事項や改善事項を活かすことが求められます。予算執行の責任者である市長はぜひ真摯に受け止めて頂き、市民満足度の高い次年度予算となる事を望みます。以上で委員長報告を終わります。